

## 卒業生からのアドバイス

# ○キャンプカウンセラーの魅力とは？

- 活動を通して組織やキャンプを企画運営する力、子どもから役所の方、保護者等の様々な人と関わることによるコミュニケーション力、行動力などを向上することができる。
- 自分達も楽しみながらどうすれば子ども達が喜んでくれるかを考えて成長できる。
- 1年目からどんどん主になって活動ができる。
- 敬語がなく気楽に活動でき、みんなフラットに接することができるので、自分の意見も言いやすい。
- 就職活動や教員採用試験に有利になる。特に教職については進路実績が多い。  
(活動を通じて自分を見つめ、また周りからも自分の良さや改善点を教えてもらえる。また、他人に語れるだけの経験や人前で話することに慣れていくため、自己分析に時間をかけずに、面接に強くなれる。)
- 子どもや仲間に対して共感することや思いやりを持つこと、教え導く力など人間関係を形成するために必要な力を育てられる。
- いろいろな人の集まりで、お互いを高めあえる環境がある(キャンプに没頭する人もいれば、忙しい中で自分の時間を見つけて参加する人もいたり、お互いを認め合い活動を通して、楽しさを共有したり悩みを相談しあったり、意見をぶつけ合ったりと、特別な絆を持つ一生の仲間ができる)

- 学生時代にキャンプのお兄さんお姉さんとして、多感な子どもと過ごした時間はかけがえのない財産になっている。
- 子どもの前や仲間同士で発表をする機会があるので、人前が出る時の度胸がつく。
- 少人数でアットホームな雰囲気があるので、周りを気にせずに自分を出していける。
- 他団体とは違い、キャンプの企画・進行や組織運営を自分たちで自由にでき、その分、責任感や自主性を持つことができる。
- 何か問題が起こった時には迅速に行動し、最善の策を考え、みんなでよりよい活動を目指して努力できた。
- 同じ目標を持ち、その目標に向かって活動することの大切さ、人間関係を築く為に大事なことを学ぶことができた。
- 保護者や役所の方など様々な社会人と接し、挨拶、身だしなみなど一般常識を学ぶことができる。
- 子どもとの関わり等、社会人になって役立つこと、卒業しても役に立っていることが多くある。
- キャンプ活動や人間関係など様々な面で失敗や挫折することもあるが、必ず支え助けてくれる人がいて、自身が真剣にぶつかっていけば真剣にぶつかってくれる人間関係ができる。
- 同じ学校や子ども会の子だけでなく、全く違う学校や違うタイプの子もたちが集まり、青少年活動を通じて仲間になるお手伝いができる。
- 学校や授業以外の場所で子どもと触れ合える。
- アウトドア、キャンプファイヤー、ゲームなど学べて楽しい。
- ひとりひとりが自分なりの技術、特技を持てる。
- みんながひとつの同じ目標をもち、組織の一員として取り組むことで作り上げていくことができる活動。
- レクリエーションや野外活動等、子どもと関わる職業を目指すならもってこいの経験ができる。
- 自分たちが主になってキャンプを作ることができるため、自分の思うキャンプ(子どもやメンバーに伝えたいこと、経験させたいこと、自分がキャンプで行いたいもの、大切にしているもの)ができる。
- 大学生活をかけて熱中する活動、仲間と巡り合える。(やった分だけ自分に返ってくる)
- かけがえのない仲間、絆をつくることができる。
- カウンセラー仲間とわいわい準備すること自体楽しく、青春の1ページになった。
- 様々な活動や会議を通して、人間関係を築いていくにあたっての大切な技術を学べた。
- 非日常の経験ができる。
- 高校や大学などの座学では学べない、子どもと触れ合える経験がある。
- 年齢、障がい、感じ方などそれぞれ個性が違う子どもたちと触れ合える。
- 学生生活で本気になって取り組める活動だ。
- 卒業してからも、一生つながってられる仲間ができる。
- 自然体験ができる(不便さもあるが、その環境でいかに工夫してよい活動ができるか、面白いことをしていくかを考えていく楽しみがある)